

2 さんだ・考古学年表

原始			弥生			古墳			古代			中世		近世		近代		現代														
旧石器	縄文	弥生	古墳		飛鳥	奈良	平安	鎌倉	南北朝	室町	安土桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成																
BC150,000 ? 18,000ころ	BC15,000 ? 10,000ころ	BC 300ころ	300ころ	350ころ	538 (552?)	645	710	752	794	1167	1192	1334	1338	1467	1573	1576	1585	1600	1603	1867	1894	1904	1941	1945	1946	1970						
大陸から人類やナウマン象が移動する	日本列島ができる	縄文土器や三矢の使用がはじまる	目塚ができる	倭奴国王が後漢(中国)に使いを送り金印を授かる	近畿・瀬戸内海地域に古墳が出現する	邪馬台国女王卑弥呼が魏(中国)に使いを送り銅鏡などを授かる	畿内政権による国内の統合が進む	大化の改新がはじまる	都が平城京(奈良)に移る	東大寺ができる	都が平安京(京都)に移る	平清盛が太政大臣となる	源頼朝が鎌倉に幕府を開く	建武の新政が行われる	足利尊氏が京都に幕府を開く	応仁の乱が始まる	室町幕府が滅びる	織田信長が安土城をつくる	豊臣秀吉が関白となる	関ヶ原の戦いが起きる	徳川家康が江戸に幕府を開く	幕府が政権を朝廷に返還する	日清戦争が始まる	日露戦争が始まる	明治維新	大正デモクラシー	太平洋戦争が始まる	第一次世界大戦が終わる	日本国憲法が公布される	大阪万国博覧会		
BC24,000 ? 30,000ころ	BC 11,000ころ	BC 5,000ころ	BC 5,000ころ	BC 200ころ	BC 100ころ	BC 50ころ	150ころ	500ころ	690すぎ	700年代	1297	1365	1395	1570年代後半	1600前後	1633	1802	1870年代後半										1958	1988	1996		
三田で、最も古い人が住んでいた跡(溝口遺跡)	三田で、最も古い土器(小栴東村遺跡)	高平に大きな村ができる(大敷遺跡)	市内の各所に村ができる(下井沢遺跡、加茂六地藏遺跡)	石包をつくる村ができる(二輪餅田遺跡)	堀で囲まれた大きな村ができる(天神遺跡)	丘や山の上に続々と村ができる(奈カリ与遺跡、大山遺跡、有鼻遺跡、平方遺跡、中西山遺跡など)	ふたたび平地に村がもれる(川除遺跡、十倉遺跡、桑原遺跡など)	須恵器が焼かれはじめる(末古窯跡群)	三田ではじめてのお寺がつくられる(屋敷町遺跡、金心寺址廃寺)	大規模な建物群がつくられる(芳ノ塚遺跡、など)	末の周辺でおおくの須恵器がつくられる(末古窯跡群)	銅の印鑑をもつ豪族が住む(貴志下所遺跡)	藍地区周辺でおおくの須恵器がつくられる(相野古窯跡群)	高売布神社の狛犬つくられる	住吉神社の本殿再建される	酒滴神社の石鳥居つくられる	本庄百石踊り市内各地の田楽がこのころはじまる	三田城ができた。市内各地に城や砦、堀で守られた館ができる	三田城に荒木平太夫が入る	三田城周辺に武家屋敷が整備される(天神遺跡、屋敷町遺跡)	九鬼氏が三田に入る。三田城が陣屋となる	神田宗兵衛ら三田をはじめる(二輪明神窯跡群など)	旧九鬼家住宅がつくられる	三田からははばいた旧殿さまや家来たち神戸などで活躍				日本各地が米軍により空襲される	三田も二輪などて襲撃される	県下20番目の市となる	ホロンピア88公園都市博覧会	人口が10万人をこえる



埴輪出土状況・芳ノ塚遺跡



ナイフ型石器
溝口遺跡



加茂六地藏遺跡



東本庄亀が森墳墓



三田小学校の城跡石碑



屋敷町遺跡



三輪明神窯 1号窯跡